

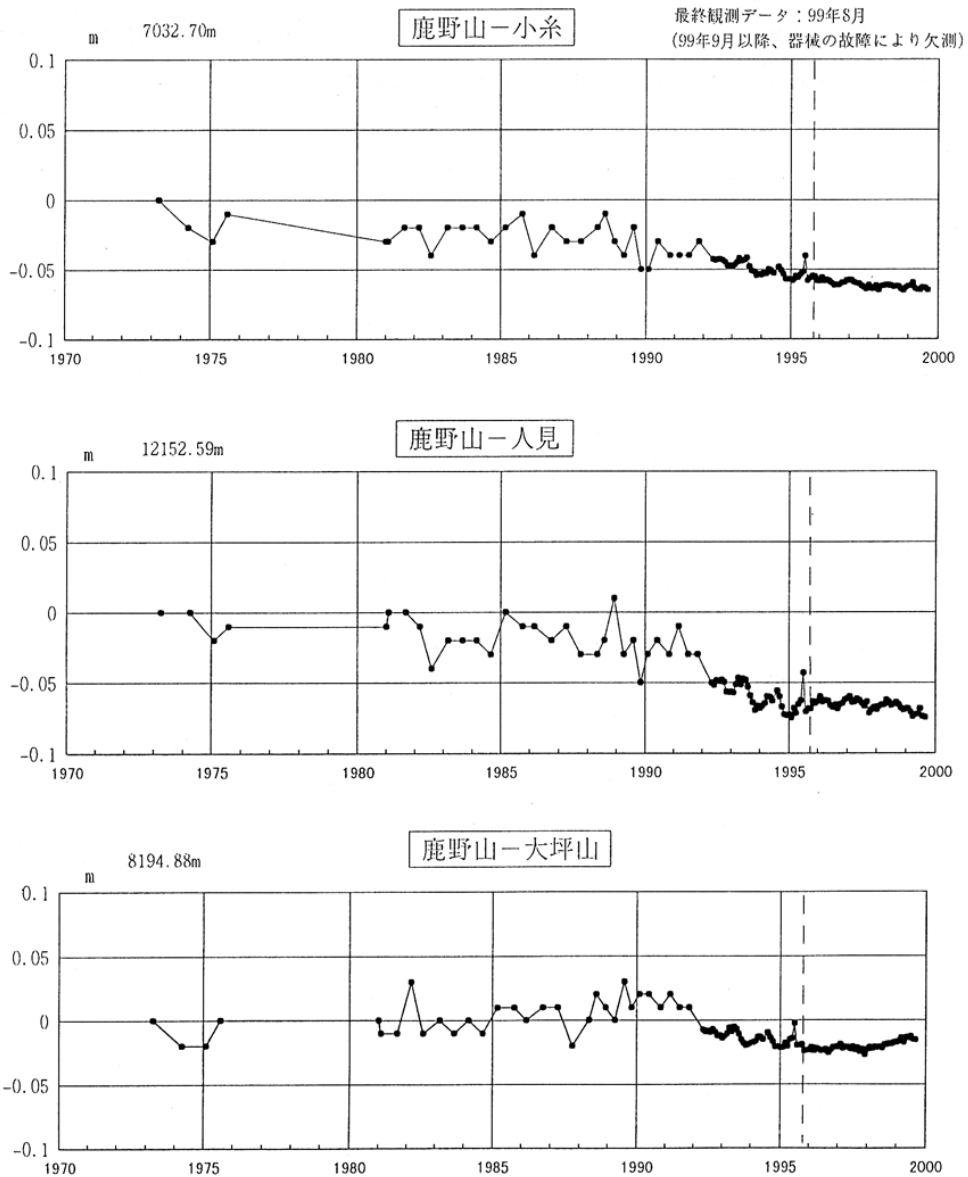
3-10 関東地方の地殻変動

Crustal Movements in the Kanto District

国土地理院
Geographical Survey Institute

第1図は、鹿野山精密辺長測量結果である。1995年の破線で示す時点で鹿野山の器械点の場所が変更されており、データが継続していないことに注意を要する。東西、南北、北西-南東方向の3基線とも、従来からの傾向に沿った変化を継続しているように見える。

1992年4月からのデータは月平均値
1995年10月から器械点移動



第1図 鹿野山精密辺長測量結果

Fig. 1 Results of precise distance measurements at Kanozan.